

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	子どもの健康と安全	担当者名	小松 奈保子
授業の概要	集団における保育環境の重要性を理解するために、乳幼児の発達に沿っての病気・事故発生について学び、対応等を具体的に理解する。また、事例等を通して環境整備の仕方や着眼点及び保健活動を保育計画に踏まえることに対する理解を深め、実践へとつなげる。				
科目の到達目標	①保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 ②関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について具体的に理解する。 ③保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対応について具体的に理解する ④子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。 ⑤保育における保健的対応の基本的考え方を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 ⑥子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。				
DPの観点	④協調性(10) ⑥専門知識・技能(30) ⑦思考力(30) ⑧実践力(20) ⑨主体性(10)				
授業時間外学修 （予習・復習）	今日的な健康に関する課題（地域で流行している感染症等の発生状況や子どもの健康に関するトピックス）を報道記事やインターネットから把握し、授業内容を予習・復習する(準備学習・復習を各1時間ずつ行う)				
フィードバックの方法	授業内課題やレポートは点検して返却する。質問・疑問点はロイロや次回授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	授業内活動・授業内提出・期末試験の判定を基に評価する。また、毎回の授業への意欲的な参加や積極的かつ真面目な取り組みも重視する。授業終了後、筆記試験を実施する。				
評価の方法・割合 （％）	期末試験50％ レポート・授業内活動・提出50％				
履修上の注意事項	毎回テキスト、配布プリントを持参してください。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育所保育指針の養護・保育活動における協働連携	⑥	課題
2			保育所における健康及び安全の管理 ①事故・怪我の対応	⑥	課題
3			保育所における健康及び安全の管理 ②事故予防	④⑥	課題
4			応急手当	⑥	課題
5			家庭と集団との違いを知る「集団での感染力の強さ」①	⑥	課題
6			心肺蘇生法	④⑥⑧	課題
7			家庭と集団との違いを知る「集団での感染力の強さ」②	⑥	課題
8			「感染予防を子どもたちに知らせる」 GW（立案・作成）	④⑥⑦⑧⑨	立案・計画書作成
9			「感染予防を子どもたちに知らせる」（発表）	④⑥⑧⑨	レポート
10			保育所における健康及び安全の管理 ③食物アレルギー対応	④⑥⑨	課題
11			保育所における健康及び安全の管理 ④病気	⑥	課題
12			保育所における健康及び安全の管理 ⑤災害対策・危機管理と安全教育	⑥	課題
13			集団における保健的保育環境（視診の大切さ）	⑥	課題
14			保健的保育環境と援助	⑥	課題
15			個別配慮を要する子どもの対応	⑥	ミニレポート
期末試験			筆記試験		

使用テキスト	授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全 演習ノート（小林美由紀 編著 ・ 診断と治療社）
参考文献 参考URL	「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(厚生労働省)「保育所における感染症対策ガイドライン」(子ども家庭
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--